

名古屋市食の安全・安心の確保のための行動計画 2023 の実施状況

施策の成果や達成度を把握するための指標となる数値目標及び推移

指 標			計画策定時 (平成 29 年度)	令和 元年度	2 年度	3 年度	4 年度	目標値 (令和 5 年度)	
食品が安全・安心だと感じる市民の割合 (※1)			71.6%	86.9%	88.2%	85.9%	83.8%	80%	
施策の柱 1	カンピロバクター食中毒の発生件数		9 件	9 件	5 件	9 件	5 件	0 件	
	食の安全の 確保	HACCP に沿った衛生管理 を実施している施設 (※2)	全施設 (※3)	—	—	—	38.5%	54.5%	100%
			重点施設 (※4)	12.7%	50.8%	100%			
施策の柱 2	リスクコミュニケーション事業へ参加した 市民の延べ人数		過去 5 年平均 2,489 人	3,087 人	1,243 人	1,914 人	3,087 人	年間 3,000 人以上	
	食の安全への 信頼の醸成		講習会等消費者教育事業における理解度	90.7%	94.6%	98%	96.4%	97.8%	90%以上

※1：翌年度 4 月～5 月に実施した名古屋市総合計画 2023 成果指標に関するアンケートの調査結果

※2：制度化（令和 3 年 6 月から施行）により全ての施設が対象となり、このうち保健センター等が立入等により確認を行った施設の割合を計上

※3：対象施設 45,379 施設（令和 4 年度末）

※4：本市独自に設定した大規模食品製造業及び給食施設等（対象施設：205 施設（令和 4 年度末）